

【製品仕様概要】

製品名	地震報知器 P波センサー
型式	Version 3.8 型
設置場所	建物内(構造物)床面上の隅にワンタッチ設置
振動検出方法	一般地震波を対象とした加速度計使用
振動検出レベル	建物内床面応答で震度換算相当値2~3以上で、かつ、検出条件を満たした場合(MR29SX-Version3.0 アルゴリズム使用)
操作方法	ランプ付押しボタン型手動スイッチ1個の操作
機能	① 手動システム総合診断テスト ② 手動システム・リセット ③ 確認ランプにより運転状況識別
警報用スピーカー	マグネチック・サウンダー(MS)4台搭載。
警報音	1500Hz/500Hzソートーン・オルタネート
警報音レベル	110db/10cm (MS1台当り)
警報時間	対象地震波検出後、25秒間MS4台駆動、その後、MS1台が手動システム・リセットされるまで駆動
消費電力	(約)待機時:0.85W / 動作時:2.6W
使用電源	外部ACアダプターより供給(DC:12V / 0.5A)
使用環境温度	-10℃ ~ +60℃ 結露ナシ(室内専用使用)
外形寸法	(約)125(幅)×125(奥行)×76(高さ) (単位:mm)
重量	約2Kg

〈お断り〉

☆ 当社の本製品を御利用頂く場合は、取扱説明書の記載事項を守って御利用下さいませお願いします。

☆ 本カタログ仕様・外觀は改良のため予告無く変更することがあります。

☆ 本製品(P波センサー Version 3.8型)は一般家庭を対象とした地震報知器です。

次の用途でご検討頂く際は事前に御連絡をお願いします。(現状 Version 3.8型仕様でのご利用は禁止します。)

- (1). 海外での御使用。
- (2). 原子力制御・鉄道・航空・車輜・信号・燃焼・生命維持のための医療機器での使用。
- (3). その他、多くの人命や財産に大きな影響が予測されるシステムでの御使用。

☆ 本製品は専門技術と経験に基づき長期に渡り安全、安心運転を目標に製品化されておりますが、万一、不動作、誤動作が起きる可能性も完全に排除出来ません。従って、上記に起因することで発生した損害に対し一切の賠償責任を負うことが出来ませんので事前に御承知おき下さい。

〈マークランド社、地震関連システム開発発売略歴〉

1980年 世界初のデジタル型地震観測システム発売。
1985年 世界初のテレメトリー地震観測網発表。
1989年 日本初の超高精度24ビット型地震観測機発売。
1989年 世界初の震災支援システム発表。
1990年 地震報知器 P波センサー開発着手。
1991年 英国ケンブリッジ大学、耐震工学共同研究着手。
1992年 中国国家地震局と21世紀型の地震観測機の共同研究着手。
1994年 東半球ボシェイドム地震観測ネットワーク・システムで東京大学地震研究所、名古屋大学の共同開発に参画。
1995年 アクロス・システム開発で名古屋大学に参画。

〈マークランド社、地震関連納入実績〉

大学・官公庁関係	韓国政府機関
北海道大学	フィリピン政府機関
東北大学	チュニジア政府機関
東京大学地震研究所	トルコ政府機関
名古屋大学	
京都大学防災研究所	民間企業関係
九州大学	東芝
東京工業大学	大成建設
東海大学 他 数十校	清水建設
通商産業省地震調査所	フジタ工業
科学技術省防災研究所	出光興産
海上保安庁水路部	東電設計
JICA	JR技研
核燃料サイクル開発機構	NTT
中国政府機関	他 数十社

〒165-0027 東京都中野区野方6-32-4
TEL. 03-3339-3130 FAX. 03-3339-6995

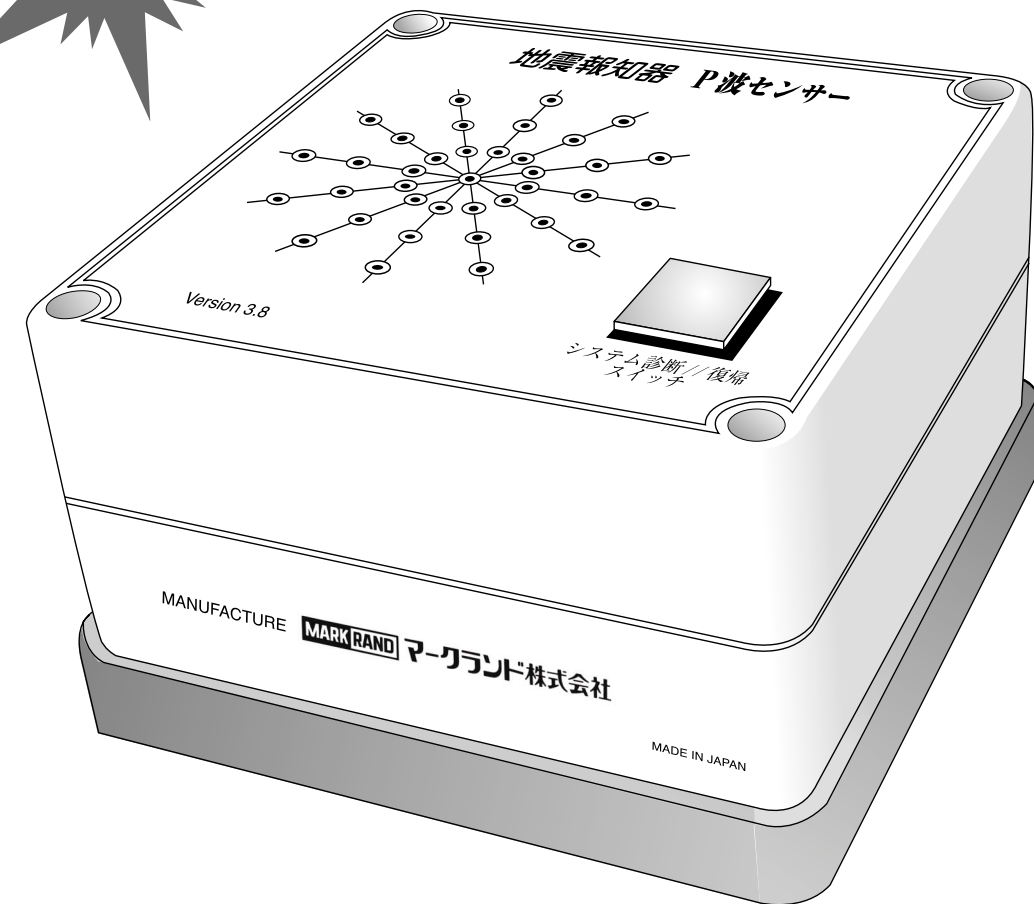
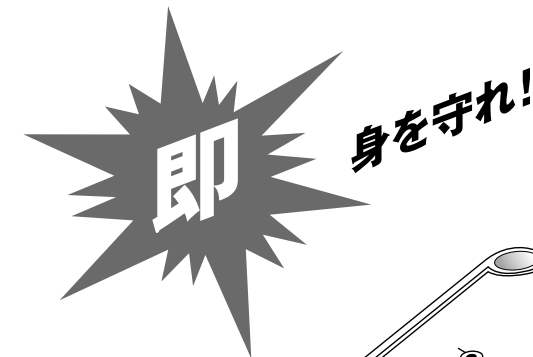
MARK RAND マークランド株式会社

一般家庭用

地震報知器 P波センサー

(Version 3.8)

取扱説明書



このたびは地震報知器P波センサーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

御使用前に、この取扱説明書、並びに保証書を必ずお読みいただいた上で、

納得、安心、安全で正しくお使い下さい。